

吃音のある子どもの保護者が、不安や悩みを打ち明けても・・・



「私がいけなかったのかしら…」

「相談してもわかってもらえないんだ…」

罪悪感

孤独感

解説

吃音は、親の接し方、ストレス、家庭環境が原因で始まるものではありません。

正しい情報の提供こそ、保護者の安心感につながります。「そのうち治りますよ」「意識させてはいけません」という、不確かな助言ではなく「吃音のある子どもに、今、何をすればいいのか」を保護者と一緒に考えてあげてください。(環境づくり編参照)

— 吃音のある子どもをもつ親の経験談 —

娘が小さい頃、保育園の先生に吃音の相談をしたことがありました。「小さい頃はよくあることです。自然に接して、吃音を意識させなければ治りますよ。様子を見ましょう」という助言をいただきました。それ以来、どんなに娘がどもっていても気づかないふりをして、意識させないよう懸命に心がけてきました。でもその後も、吃音が

消えることはありませんでした。娘はいつからか、吃音を隠そうと人前で話さないようにしているようです。心配ですが、私は娘と吃音の話をするきっかけもつかめなままです。最近、「吃音のある幼児のほとんどは、自分の話しづらさに自覚がある」ことを知りました。娘は小さい頃から、不安や悩みを抱えて続けてきたのではないかとすると、何もしてあげられなかったことが悔やまれてなりません。

相談に行く目安

吃音の症状に波があっても続いている場合、周りが話し方に気づき始めてくる時期(年中後半ころ)には、専門機関への相談をおすすめします。

相談先の案内

おすすめの本 『子どもの吃音 ママ応援 BOOK』 菊池良和著 学苑社 『「吃音」の正しい理解と啓発のために—キラキラを胸に—』 堅田利明編著 海風社

おすすめのホームページ 吃音ポータルサイト 金沢大学 小林宏明先生 <http://www.kitsuon-portal.jp/>

知ってる？ 吃音のある有名人

重松清 (作家)	ハメス・ロドリゲス (サッカー選手)
江崎玲於奈 (ノーベル物理学賞受賞)	ジョージ6世 (英国王)
小倉智昭 (アナウンサー)	ブルース・ウィリス (俳優)
田中角栄 (元首相)	ダーウィン (生物学者)
	など

きつおん親子カフェ

「吃音のある子どもはひとりじゃないよ」をコンセプトに、吃音のある子どもと親を中心とした交流会や講演会の開催、吃音の啓発活動を行っています。保護者、ことばの教室教員、言語聴覚士、大学生などの有志で運営しています。

思いを分かち合える親仲間も待っていますよ

監修/山崎 和子 (言語聴覚士)
制作/広島市言語・難聴児育成会
きつおん親子カフェ
発行/2023年8月(第2版)

吃音リーフレット(無料)のお申込みは、こちらから <https://kitsuonoyakokafe.wordpress.com/>



あ、あ、あ、あいうえお 知ってほしいな！きつおんのこと

はじめに

言いたいことが頭に浮かんでいるのに、その言葉がスムーズに出せない症状を、吃音(きつおん)と言います(一般的に「どもる」とも言います)。

吃音のある子ども達の中には、様々な生活場面で困っている場合があります。けれども、そのことに周囲は気づかずにいることもあるのです。

周囲が吃音を正しく理解し関わることで、吃音のある子ども達が自分らしく健やかに成長していけるようお願い、このリーフレットを作成しました。ご活用いただければ幸いです。

こんな子はいませんか？

① モジモジして、なかなか挨拶ができないA君。



周囲の誤解 「恥ずかしいのかな」「緊張しているのかな」「何を言うのか忘れたのかな」

② 園では口数が少なくて自己主張ができないBちゃん。「家庭ではおしゃべり」と保護者。



周囲の誤解 「おとなしい子どもだな」「人見知りなのかな」

③ しゃべろうとするとカんで、足ぶみをしながらかうように話すC君。



周囲の誤解 「話すだけなのに、どうしてカんでいるんだろう」

④ 「お、お、お、おかあさん。こーれ食べたい」と話すDちゃん。



周囲の誤解 「あわてているんだ」「ふざけているんだ」「早口だからこんな話し方になるんだ」

それぞれ、以下のような吃音の症状である可能性があります。

- ① 難発 ② 話すのをやめてしまう。あきらめてしまう。(二次的症狀)
 - ③ 力む、足ぶみをする(伴っておきる症狀)。難発 ④ 連発、伸発
- ※あわてたり、緊張したりしていなくても、吃音はおこります。

※詳細は次ページへ

